

宗内寺院紹介 **23**

星野山
無量壽寺
中
院



天長七年（八三〇）慈覚大師の開基。仏地院として勅号を賜る。天慶の乱や元久の乱により灰燼に帰す。
 永仁四年（一一九二）尊海僧正により中興、顕密を弘め北ノ院（仏藏院・南ノ院多聞院）など十三の塔頭を設け、関東天台の総本山を蒙り、慶長十七年（一六一三）迄続く。のちに談議所（仙波）にもなり、檀林と移り、江戸時代迄関東八ヶ檀林の筆頭を維持していた。（田舎天台の確立）
 昭和になり釈迦堂再建、平成に入って大門大修理、薬師堂（時代に合わせて永代供養堂）を再建する。又境内は島崎藤村が義母に贈った茶室（不染亭）が移築されており、三月末に花はしだれ桜にはじまり、つじ、沙羅双樹、白雲木、金木犀まで続き、晩秋にはもみじ、いちじくの紅葉など四季を通じて樹木が彩る。また仏像彫刻・写経・茶道などの文化活動に力を入れている。



星野山 中 院
無量壽寺

住 所 / 〒350-0036 埼玉県川越市小仙波町5-15-1
 電話番号 / 049-222-2170